

自分の得意を活かして新ひだか町、北海道に恩返ししたい

市川 福子 (いちかわ ふくこ) さん

新ひだか町役場 まちづくり推進課 移住コンシェルジュ

1968年千葉県生まれ。演劇を志し早稲田大学へ進学。卒業後はイベント関連会社に勤務しながら演劇やナレーション等の活動が続ける。2005年新ひだか町へ移住。2013年より新ひだか町役場で移住を担当。2020年より初代移住コンシェルジュとなる。

2022年4月、午後カフェの会場となったカフェの前で

北海道に移住（U・I・Jターン）して、地域を巻き込む取り組みをする輝く人を紹介するインタビュー。お話を伺うのは、北海道各地を探訪し想いを形にする人との出会いをつなぐ、地域プロデューサーのかとうけいこさん。16回目となる今回は、新ひだか町で移住を担当して10年目を迎える“移住コンシェルジュ”の市川福子さんです。

新ひだか町とのご縁を聞かせてください

「海ごはん山ごはん」という絶景のアウトドアで料理をして食べるという番組に4年ほど出ていました。そのロケで新ひだか町にも宿泊し新冠町の牧場で撮影したことがあります。これが初めての新ひだか滞在でした。出身は千葉市ですが、漠然と北海道で暮らしてみたいという想いがあり、当時暮らしていた東京から北海道に2005年に来て、最初に暮らした土地が新ひだか町でした。

最初の移住地が新ひだか町ということは？

東京で紹介された仕事の勤務地が新ひだか町だったのです。移住した当初は夫と共に北海道各地に旅をしました。もっと自分たちに合う場所があるかもしれないと思っていたんですね。そして夫に新規就農したいという想いがあったので、技術を身につける意味もあり十勝清水町の農業生産法人に2人で就職し4年間働きました。

新ひだかに戻られたということですね

はい、そうなります。出戻りですね（笑）。日高山脈の向こう側で暮らしてみて、「ああ、新ひだかが自分にはじっくりくる」と。新規就農に関してのサポートや、新千歳空港までのアクセスの良さ、冬の雪が少ない等の条件もありましたが、何より初めての北海道暮らしを受け入れてくれた集落の皆さんのことが忘れられなかったから。家族のように温かく、めっちゃファンキーで、その魅力にすっかりやられてしまいました。

集落の人たちとの出会いが最高だったのですか？

はい。「ここは日本？イタリア？」と驚くようなラテンのノリでユルク私たちを迎えてくださった、牡蠣とビールの歓迎会が衝撃的でした。

軽トラックで私たちの家の前を通ったおじさんが「今日厚岸の牡蠣食べるから6時に〇〇さんの家に来いよ～」とニコニコしながら用件だけを伝えてくれました。その時間に恐る恐る訪ねると、納屋に地域の方が揃って牡蠣をBBQコンロ（焼き床）で焼いていました。「まあ、座れ。飲みなさい」と生ビールを手渡されました。「とにかく食べろー」と宴が続きました。どこから来た、何をしたいと新ひだかに来た、どんな仕事していたのかといった質問もほとんどなく、そして自分たちの自己紹介もなくで…。なんとも不思議な幸福感に包まれたことは覚えています。

移住コンシェルジュについてお聞かせください

10年前、役場で臨時職員の募集があり「わがまちPR戦略室」に配属され、移住担当になりました。偶然だったと思います。その後、商工労働観光課、企画課、現在のまちづくり推進課…と、部署名は変わりましたが、移住の仕事を続けさせてもらっています。

移住者として、ちょっとした失敗や、えーなぜ？？という苦い経験をしてきた私だからこそ、伝えられることがあると感じています。全道各地にじわじわと増えて来た、移住コンシェルジュや移住コーディネーター。この職業のブランディングをしていきたいです。仕事の価値やコンシェルジュの適性などを言語化していかなくては。

情報発信、コミュニティづくりに尽力されていますね

新ひだか町では、先輩移住者や体験移住者の情報交換の場として、月一回「午後カフェ」を開催しています。2018年スタートで、37回を重ねました。2020年からは「Radioしずない」という新ひだか町や近隣のまちの最新情報をお届けする、YouTubeを經由した音声番組を

地域の仲間と共に配信しています。

2021年からは、道内16自治体の移住コーディネーターからなる「北海道移住のすゝめ」というチームに参加して、オンラインイベントや移住相談を行っています。また、そこから生まれたポッドキャスト番組「移住の女神」は、北海道暮らしや移住にまつわるあれこれを私と栗山町、下川町の移住コーディネーター3人の自称女神(?)がおしゃべりする楽しい音声配信です。

他にはオール日高で取り組んでいる、日高地方の暮らしをざっくばらんに紹介する「北海道^{あこが}ひだか、オンライン移住カフェ」でもMCを担当しています。こうした活動は、「北海道暮らし」に憧れている方が実際の暮らしの様子を聞くために参加してもらってもいいですし、ある程度移住を前向きに進めている方への「後押し」として参加して下さってもいいのかなと思います。

今後のチャレンジとしては、週一回程度、その時の天候や気温、旬の食べ物、風景やイベント情報などを伝える、肩の凝らないちょっとした配信番組をスタートさせたいと考えているんですよ。

(2022年5月取材)

インタビュー後記

市川さんとは、6年前に新ひだか町が取り組んでいた地方創生プロジェクトに私がファシリテーターとして関わったワークショップで初めてお会いしました。てきぱきして明るくて感じの良い方だな。こういう方が移住の窓口にいらっしゃるといいなと感じました。いつかしっかりお話を聞きたいという願いが今回叶いました。

かとう けいこ (株)まちづくり観光デザインセンター代表

新ひだか町滞在
・移住ナビ



北海道移住の
すゝめ



Radio しずない



移住の女神

